

公共交通とは、不特定多数の人々が所定の運賃を支払うことで自由に利用できる交通機関。

- 全国的な課題**
- ・人口減少・高齢化による過疎化で故郷交通の利用者数が低下
 - ・人手不足による運転業務への支障、賃金水準の低さ
 - ・交通事業者のDX対応の遅れ
 - ・交通事業者によるサービス提供が不足・困難な地域の存在
 - ・気象条件による運休・遅延の発生
- その他、地域要件によって多くの課題がある。

- 瑞浪市の課題**
- ・自家用車の利用や人口減少・高齢化によって市内周辺部の公共交通利用者が減少
 - ・交通空白地域への対応
 - ・医療機関・商業施設等への利用が不便
 - ・新病院（東濃中部医療センター）へのアクセス

瑞浪市の目指す公共交通（第7次総合計画）

- ・交通分野におけるDX（自動運転）を念頭に地域のあらゆる交通手段を最大限に活用した共創による公共交通体系の整備。
- ・公共交通機関の利用を促進し自家用車が無くても気軽に移動できるまちづくり。
- ・利用者負担やニーズを踏まえた持続可能で利用し易いコミュニティバス・デマンド交通の運行を維持。
- ・親しまれるコミュニティバス・デマンド交通の分かりやすい時刻表や路線図の表示に努める。



コミュニティバス



デマンド交通

〈課題〉戦後の経済成長と共にモータリゼーション（車社会）が進み、地方では自動車保有率が上昇し公共交通機関の利用が減少している現在、利便性に富む自家用車から公共交通機関に乗り換えられるだろうか。

市民の意識改革や生活習慣の変更、究極的に公共交通社会に適応したまちづくりをしなければならない時代になったと思う。